

「文化力の拠点」活用案

国際学生寮（インターナショナルドミトリー）

【施設検討の考え方】

- 宿舎収容想定規模 300 人（外国人 200 人、日本人 100 人程度を想定）
- 県中部地区の高等教育機関の留学生を収容対象とする
- 食堂及び風呂は共同とする（トイレは各居室に設置）
 - * 食堂及び風呂の共同利用の形態は、今後検討

【宿舎施設の必要面積試算】 6, 000 m²（300 人×20 m²）

施設	内容
居室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 部屋を 5 人程度で利用するシェアルーム * シェア形態の詳細は今後検討 ・ 各室にトイレ設置（1 人 1 基） ・ ゲストルームの設置（県内大学が共用で利用）
共同食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食スペース、調理室
共同風呂	<ul style="list-style-type: none"> * 大浴場又はシェアルーム内のシャワー設置（今後検討）
交流スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランドリースペースを含める

（注）面積には、エントランス、廊下、エレベーターホールの面積を含めない

【参考：他の宿舎との規模感比較】

施設名	定員	総床面積	面積詳細
静岡大学 （雄蕨寮）	132 人	4, 065 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿舎用途の面積 2, 698 m²（静大） （エントランス、玄関等共通部分を除く） ・ 宿舎に必要な面積 6, 132 m²（300 人相当）
立命館太平洋大学 （APU ハウス 1）	821 人	15, 527 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿舎に必要な面積 5, 674 m²（300 人相当） （交流施設は別棟に集約されている）